



医学部を目指す高校生・受験生を結ぶ情報通信

医学生のたまご

2025.8

topic

- ① 診療所医師体験の様子
- ② 夏休みボランティア特集

夏は117名の高校生が企画申し込み！



医学部奨学生と広島に行きました



今年は被爆80年、戦後80年ということをみなさんはご存じですか。

毎年広島と長崎で開催される原水爆禁止世界大会に、私たち千葉民医連から30名が参加しました。初期研修1年目医師や医学部奨学生も一緒です。

参加した奨学生からは「被爆者の方の証言を聞いたり、広島平和記念資料館を訪れたりして、ようやく原爆の恐ろしさを身に染みて感じることが出来ました。私たち世代は被爆の事実を知り、伝えていく義務があると思います。これから先、戦争や核兵器のない未来に少しでも近づけるよう行動していきたいです」と感想が寄せられました。



命を奪う戦争を繰り返さないことは、医療を守ることにもつながるのではないかでしょうか。改めて医療はどうあるべきかを考えさせられる機会になりました。

ぜひみなさんも医学部に合格したら、一緒に学びを深めましょう！



診療所医師体験の様子

ホームページ上では船橋二和病院、千葉健生病院の医師体験を紹介しました。この通信では診療所の医師体験をご紹介します！毎回、1名参加のためじっくり見学したり質問出来たりします。実際の診察を裏で見学することもできます。もちろんその日の現場状況によって内容が変わることがありますが、申し込みの参考にぜひしてみてください。



こんな間近で
診察見学なんて
はじめて！



診療所内に
ティケアも



採血の血管探し
を体験



夏休みボランティア特集

夏休みに開催した地域ボランティアは、学生ボランティアも来場者も多く、医療機関と地域がつながる素敵な時間になりました。今回の通信では『だれでも食堂』と『なつまつり』の当日の動きをご紹介していきます。どのように学生に関わってもらったのか知っていただき、参考にしてみてください！

だれでも食堂

学生は10時に来てもらい、健康友の会の説明をしました。その後、2グループに分かれて友の会と一緒に調理開始。調理実習で行うくらいのことをお願いするので、普段料理しない学生もすぐに慣れていました。



お出迎え

星空ゼリー



コールスロー
サラダ

11時30分の開始と同時に、地域の方が食べに来てくれました。学生は来場者を席に誘導したり、配膳をしたりしました。来てくれた方とお話しながら、おかわりやデザートを出すなど、考えながら動いてくれました。

12時30分ごろは人もまばらになってきたので、学生に自分たちで作ったご飯を食べてもらいました。

13時ごろから片付けをし、その日のふりかえりとして感想をお聞きしました。14時ごろには解散しました。



なつまつり



10時に集合し、好きな色の法被を選んでみんなで自己紹介。用意したゲームの遊び方を準備会に来た学生が説明し、あみだくじで分担を決めました。各グループに子ども目線で、細かいルールを決めてもらいました。

11時に受付を開始しました。受付は職員が行い、混み具合を見ながら案内をしました。

スタンプラリーのシートを持った子どもにゲームの遊び方を学生に説明してもらい、一緒に遊んでもらいました。シートに点数を書き込んでもらい次のところへ誘導。



スイカ割り



輪投げ

学生が担当したゲームはさかなつり、輪投げ、スイカ割り、棒倒しです。13時ごろには準備していたものもなくなり、お片付け。近くの飲食店にみんなで行ってお昼ご飯を食べながらお疲れ様会をしました！15時前には解散しました。

キーワードを深めよう

今回はお休みです

今回は他の記事の都合上お休みします。これまで社会的処方の取り組みを紹介してきたので、少し理論として整理できるよう次回お話しします！

【お問い合わせ】

千葉県民主医療機関連合会（千葉民医連） 医学生担当：宮島（たくさんの方に興味を持ってもらえて嬉しいです！！！）
〒260-0013 千葉市中央区中央 4-8-8日進ビル201
TEL : 043-224-7497 FAX : 043-202-5246
MAIL : chiba-ishibu@min-iren-c.or.jp URL : <http://www.min-iren-c.jp/>